

助成事業細目	ドーピング検査事業
事業名	ドーピング検査事業
具体的な事業の内容 (種目・期間・場所・対象者等をそれぞれ具体的に記載すること。)	4大会にて実施した。
事業の成果	JADAと事前打ち合わせを行い、JADAと協力して検査を施行した。 検査業務そのものはJADAが主体となって行い、JTAはコーディネーターとオブザーバーとしての役割を分担した。
事業に対する評価	検査対象者・大会主催者・JADAの3者において特に問題提起も無く、予定通り検査を終了した。次年度検査に対する課題は年度末に再検討することとした。
ロゴマーク等の表示方法	<input type="checkbox"/> ホームページ上の表示 <input checked="" type="checkbox"/> 活動場所での掲示(看板等による) <input type="checkbox"/> 印刷物への表示 <input type="checkbox"/> 取得物品への表示 <input type="checkbox"/> その他 )
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	ホームページにて、事業報告が含まれた決算書を公開する。
備考	ある大会では、検査の前日夜から当日朝にかけて台風が直撃した。 試合は何とか行われたが雨で実施できない可能性を考えて、大会側が検査日の前日夜に急遽3か所に会場を分けて試合を行うことを決定したため、検査会場における選手の絶対数が3分の1程度まで減少してしまった。 そのような状況下ではあったが、何とか予定検体数の半分を検査することができた。